

中学校技術・家庭科（家庭分野）実践事例		鹿児島市立吉野中学校 教諭 西原昭子	
単元名	家族と家庭生活 こどもの成長	本時	幼児の成長「心の発達」
目標	情緒,社会性の発達には,周囲の人の接し方や環境からの影響が大きいことを知る。		
	主な学習活動	指導上の留意点 (カウンセリングの視点)	
導入 5分	1 幼児が遊んでいる場面の絵を見せる。	1 幼児が数人で遊んでいる場面の絵を見せる。 その後おもちゃの取り合いになった場面の絵を見せる。 共感 みんな,笑顔だね。小さな子がすきなんだね。	
	2 絵の中の幼児の気持ちを考え,発表する。	2 幼児の立場にたって考えさせながら,絵の中にことばを入れさせ,発表させる。 受容 ・いろんな考えがあっていいんだよ。 ・ゆっくりと考えていいよ。	
展開 35分	3 学習課題を設定する。 簡単なウォーミングアップ	3 学習課題 <u>「幼児にはどのように接すればよいのだろう。」</u> リラックスさせるため,緊張をほぐすようなエクササイズを行う。	
	4 幼児とのかかわりについて,ロールプレイングを通して考え,発表する。 ・場面を設定する。 ・役割を設定する。 ・それぞれの役割がわかるように工夫する。 ・幼児役は立て膝をして,目線を幼児の高さにする。	4 幼児の発達に直接かかわる家族の役割について考えられるように支援する。 <見る側は> ・幼児ではなく,かかわっている家族役の演技を見る。 ・このときの幼児の気持ちを考える。  誠実 受容 共感 ・みんなよく頑張っているね。 ・うんうん,このグループはこう考えたんだね、 ・こういうことを言いたかったのかな。	
終末 10分	5 グループの発表を見て,わかったことをまとめる。	5 ロールプレイングを通してわかったことを記入させる。 ・わかりやすい言葉 ・声の大きさやしやべる速さ ・態度,動作(優しい態度で,見下ろさない。)	
	6 自己評価表に記入する。	6 文章で自由に記入させる。 自己肯定感の高揚	
実践の考察	ロールプレイングを行う前に,エクササイズをしたことで抵抗なく演技してくれた生徒が多かったように思う。また,それぞれの考えを否定せず,受け止めるように努めたことで,まわりの生徒も他のグループの演技を笑うことなくしっかりと見ることができた。今後もこれらをうまく取り入れながら,学習を展開させていきたい。		